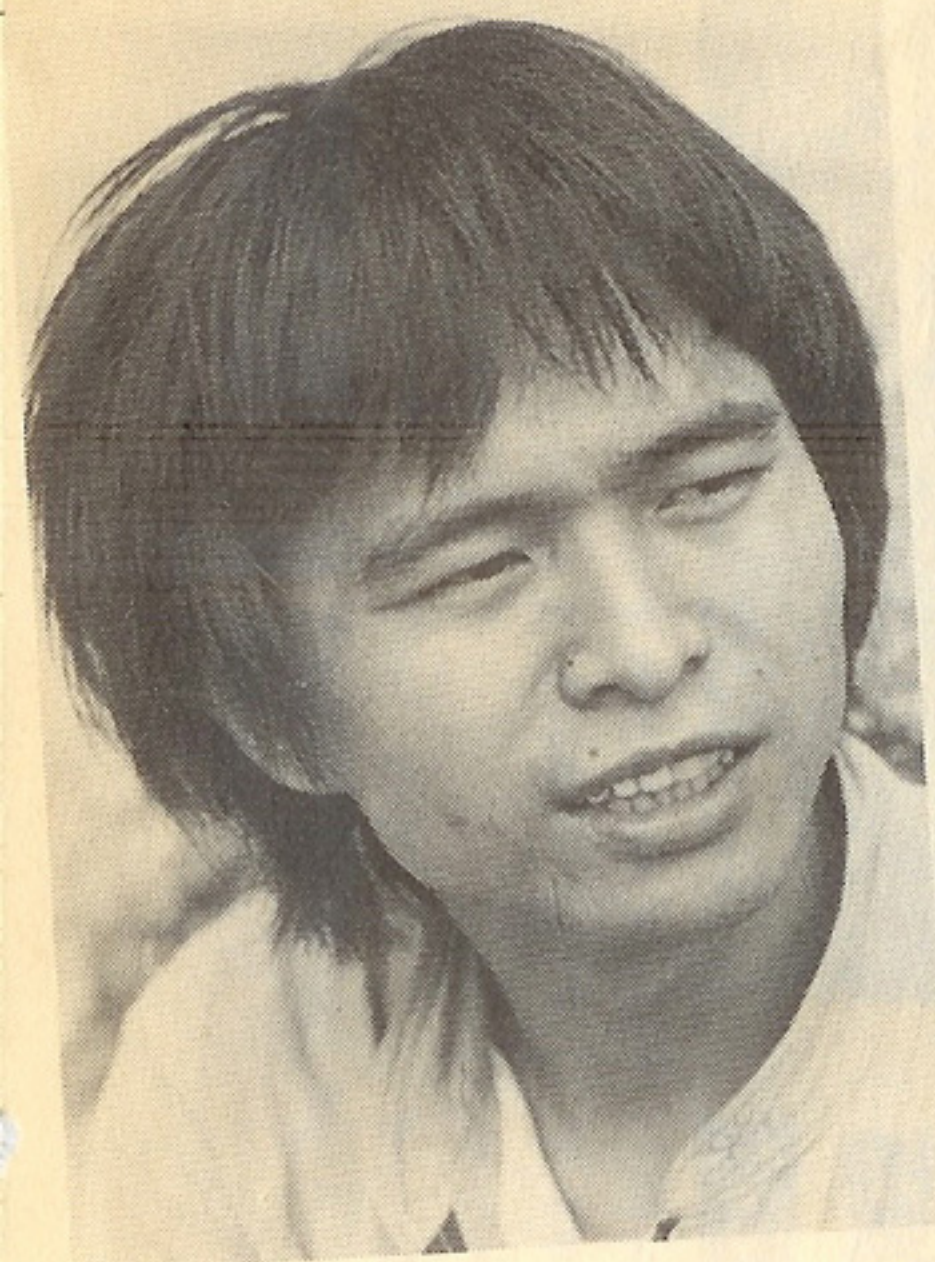




万円。フローティング加工のコンロッド、オリジナルピストン、クランク、非対称カムなどが独自の精密加工で仕上げられている。

工場は手前が駐車場になっていて、L型のZや、スカイラインが並んでいる。取材日も2台の東京ナンバーのスカイラインが置いてあった。店長の牧原さんに尋ねてみると「東京からもけっこうチューニングの依頼

が多いですね」。チャレンジでは、エンジンだけを送ってのチューニングもやってくれるので、地方のユーザーにとっては便利である。

工場内は、チューニング最中のエンジンから仕上げられたものまでがあちこちに置かれていて、さすが、ホットなマシン作りで定評の高いチャレンジのピットといった感じだ。マフラー、タコ足もオリジナルで各メーカーのものが、各タイプそろっている。ガレージ内には、ゼロヨン用のサイドマフラーや直管のストレートのものもかなりあり、たび重なるテストのあとがうかがえる。

チャレンジ店長の牧原さんは、L型エンジンにかけては長年の経験を持つ。牧原さんみずからゼロヨン仕様のスペシャルZでテストをくり返し、スペシャルパーツを開発してい